

病態制御医学講座／小児科学分野 附属病院／小児科 総合周産期母子医療センターNICU/GCU

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	大嶋勇成	1998年9月- (2010年11月-現職)
准教授	畑郁江	2000年7月- (2015年7月-現職)
講師	川谷正男	2003年4月- (2011年3月-現職)
講師	安富素子	2009年4月- (2015年6月-現職)
助教	鈴木孝二	2009年4月-2010年3月、2012年4月-
助教	村井宏生	2012年7月-2019年2月
助教	巨田元礼	2014年4月-
助教	奥野貴士	2012年4月- (2015年6月-現職)
助教	五十嵐愛子	2015年7月- (2017年8月-現職)
助教	吉川利英	2017年4月- (2019年3月-現職)
特命助教	湯浅光織	2017年8月-
医員	磯崎由宇子	
医員	川崎亜希子	2014年6月-2017年3月、2017年4月-
医員	林泰平	
医員	小坂拓也	
医員	山田健太	
医員	伊藤尚弘	
医員	杉原啓一	
医員	松尾星弥	
医員	出口沙知	

2. 研究概要

研究概要

病態制御医学講座／小児科学領域および附属病院／小児科・総合周産期母子医療センターで実施されている研究は、「アレルギー・免疫・感染部門」、「血液・腫瘍部門」、「内分泌・代謝・栄養・先天異常部門」、「神経・発達・子どものこころ・成育・保健部門」、「胎児・新生児・未熟児部門」、「腎・泌尿器部門」の6部門に分類される。個々の部門はそれぞれ独立して、また、相互に協力して、研究を実施した。

(免疫・アレルギー部門)

小児のアレルギー疾患、免疫疾患、感染症を対象に、その病因・病態の解析と治療法の開発のための研究を実施している。科学研究費補助金・基盤研究(C)「ナノ粒子を利用した食物アレルギーの経皮免疫療法」(研究代表者)、科学研究費補助金・若手研究(B)「皮膚免疫応答の制御による、食物アレルギーの感作抑制と免疫療法への応用」(研究代表者)、を行い、小児アレルギー性疾患の病因病態の解析、食物アレルギーに対する経口減感作療法における耐性獲得機序の解明や治療判定基準の開発研究、食物アレルギーの新規治療法の開発、気管支喘息における気道リモデリング機序の解析とバイオマーカーの開発を行った。また、Allergology International編集委員、日本小児アレルギー学会編集委員長、日本小児アレルギー学会食物アレルギーガイドライン委員、好酸球性消化管疾患ガイドライン統括委員などの活動を通じ、我が国の食物アレルギーガイドラインの作成に中心的な役割を果たした。原発性免疫不全症や小児膠原病、炎症性腸疾患、自己炎症性疾患の病態解析を行い、治療成績の改善につなげている。また、アレルギー疾患対策拠点病院として福井県の学校における食物アレルギー対応の手引きの作成に携わるとともにその普及に貢献した。

(神経発達部門)

小児神経・筋疾患、神経発達症の病因・病態の解明、有用な診断法の開発と有効な治療や療育法の開発に関する研究を実施している。科学研究費助成金(基盤研究C「キレる子どもの神経基盤の解明と有効な包括的支援システムの構築(研究代表者)」、基盤研究C「発達性ディスレクシアの神経基盤の解明と早期発見・介入の試み(研究代表者)」)、若手研究「胎児・新生児期の生体リズム評価による自閉スペクトラム症の病態の解明(研究代表者)」などの援助を受けて、小児の神経発達症の病態解明や診断に有用なバイオマーカーの開発、神経発達症とその家族(特にきょうだい)に対する有効な支援方法の開発、神経発達症を対象とした非線形解析やネットワーク解析を用いた発達障害における脳内神経ネットワーク障害の解明、発達性ディスレクシアに対する早期介入の試み、睡眠障害のある神経発達症の評価と早期介入の試み等を行い、その成果を専門学会に報告してきた。また、福井県で唯一の小児神経学会小児神経専門医認定施設として、希少疾患や難治性疾患の診断や治療を行い、その成果を学会や専門誌に報告してきた。福井県内の小児神経専門医を志す若手医師育成や専門的な指導を行うために、小児神経に関する画像、脳波、臨床遺伝の勉強会を定期的に開催し、公立小浜病院や市立敦賀病院で小児神経・精神疾患の専門外来を開設することで福井県内の小児神経の専門的診療ネットワークを構築している。神経発達症などの小児精神疾患に関しては、附属病院こどもの心診療部、福井県内の療育機関、教育機関や行政機関と連携を取りながら、発達障害の診断、治療や専門医師の育成に力を注いでいる。小児での治験推進にも積極的に取り組んでおり、小児の神経発達症や睡眠障害を対象とした臨床試験を行っている。

(血液腫瘍部門)

小児血液疾患、悪性腫瘍の病因・病態の解析と治療法の開発に関する研究を実施している。日本小児がん研究グループ(JCGG)の参加施設として、白血病・悪性リンパ腫などの造血器腫瘍、神経芽腫等の固形腫瘍について最新の臨床治療研究を行うと共に、再生不良性貧血や免疫不全症などの非腫瘍性疾患も含めた難治性疾患の治療も実施しており、日本骨髄バンクによる移植認定施設として、非血縁同種造血幹細胞移植の実施が可能である。小児がん拠点病院の連携病院として地域における小児がん診療の中核を担っている。

JCGG血液腫瘍分科会活動として、AMEDによる革新的がん医療実用化研究事業(小児骨髄系腫瘍に対する標準的治療法の確立)の分担研究者として、慢性骨髄性白血病病における二次治療として第2世代チロシキナーゼ阻害薬の比較に関する後方視的解析を論文報告し、今後の慢性骨髄性白血病の第2世代チロシキナーゼ阻害薬の新規比較試験の準備を進めている。

基礎研究に関しては、難治固形腫瘍に対する新規免疫療法の開発を目指し、造血幹細胞移植後の免疫系再構築過程における抗腫瘍免疫を効率的に導くための自家造血幹細胞移植法の研究に取り組んでいる。また、神経芽腫細胞株を用いて、ナノ粒子を用いたレチノイン酸のドラッグデリバリーに関する研究を開始している。

(胎児・新生児部門)

胎児・新生児の生理および病態の解明と難治性疾患に対する効果的治療法の開発を目指した研究を行っている。羊水過少と未熟肺の関連・呼吸機能評価の臨床データ収集を行い、未熟児の皮膚水分・皮脂量評価をMulti Probe Adapter MPA Systemsを使用し行っている。日本周産期・新生児医学会の専門医研修施設として新生児専門医の育成にあたり、また、日本周産期・新生児医学会公認の新生児蘇生法の普及に努めており、新生児蘇生法講習会を主催しインストラクターを派遣した。

(内分泌・代謝部門)

小児内分泌・代謝疾患の病因・病態の解明と診断・治療法の開発に関する研究を実施している。タンデムマス・スクリーニングにおいて多発する偽陽性例に対応するためのLC-MS/MSによる二次検査法の開発・改良をすすめ、学会で報告した。また、各地の自治体・検査機関でのスクリーニング精度管理および陽性判定法を検討し、運用に関する支援を行った。わが国における先天代謝異常症化学診断の中心施設として、全国各地の医療機関研究機関からアンタルニチン・アミノ酸・有機酸分析の依頼を受け付け、多数の有機酸代謝異常症・アミノ酸代謝異常症・脂肪酸酸化異常症患者の化学診断に貢献した。科学研究費助成金・若手研究「脂肪酸酸化異常症代謝プロファイル解析による高精度診断法の確立」を行った。

福井県小児糖尿病サマーキャンプなどによる小児糖尿病患者の療養教育を行うとともに、県内の医師、看護師、栄養士に対し、講習会などを通じて小児の成長、糖尿病などに関する知識の普及に貢献した。

(腎臓部門)

小児の腎・尿路疾患における早期診断並びに効果的治療法の開発、改善を目指した研究を行っている。胎児・新生児・未熟児部門と共同で、未熟児・新生児の尿液体を用いて腎障害の早期発見に有用なバイオマーカーを検討している。小児ネフローゼ症候群の唾液中の再発予測マーカー検討している。CAKUT (congenital anomalies of kidney and urinary tract) に対しては、胎生期からの効果的な介入方法を検討している。定期的に福井県小児腎疾患症例検討会を開催し、福井県下

キーワード

小児科学、自己免疫疾患、自己炎症性疾患、アレルギー性疾患、膠原病、感染症、原発性免疫不全症、炎症性腸疾患、血液疾患、造血器腫瘍、固形腫瘍、代謝異常、栄養性疾患、内分泌疾患、新生児マススクリーニング、質量分析法、小児神経、筋疾患、発達障がい、子どものこころ、発達脳科学、胎児・未熟児・新生児、栄養・成育、ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、先天性腎尿路奇形、尿路感染症、腎不全

特色等

小児科学の各専門領域で優れた研究を実施し、その成果を国内外に発信している。同時に、小児アレルギー疾患の治療ガイドラインの策定や先天代謝異常症のマス・スクリーニング、発達障害のきょうだい支援体制の構築など、近年社会的に問題となっている疾患の診療・予防・管理に直接結びつく研究を継続して行っている。福井県の医療・保健行政に対し、関係する各種委員会の委員として参加することにより貢献している。免疫・アレルギー部門は、附病院が指定を受けたアレルギー疾患対策拠点病院として患者、医療関係者に対する啓発活動などを通してその中心的役割を担っている。血液・腫瘍部門は福井県唯一の骨髄移植認定施設として、骨髄移植治療成績の向上のための臨床研究を進め、国内外の大規模な専門施設にひけをとらない治療成績を上げている。新生児・未熟児部門は総合周産期母子医療センターのNICU/GCU部門として未熟児に対する優れた治療成績を上げており、日本周産期・新生児医学会認定の専門医研修施設として新生児専門医の育成を行った。神経・発達部門は小児科の積極的な関与が求められる「発達障害」や「こころ」の問題を抱える児に対する支援を、治療・臨床試験の推進、地域との学際的・有機的な連携のもとに、積極的に行っている。腎・泌尿器部門は福井県下の学校検尿有所見者に対する二次精密検査の標準化プロトコルを作成し、医師会と協力して学校検尿精密検査体制を構築した。このように、小児科学・小児医療の多くの分野で、社会に大きく貢献している。

本学の理念との関係

小児科学領域は、上述の研究概要、研究進展状況、特色に記載したごとく、本学の理念である先端の医療人および医学研究者の育成、世界をリードする水準の研究成果の創出、高度な医療の実践、のすべての項目において、それに合致した優れた活動を実施している。

3. 研究実績

区分	編数	
	2018年分	インパクトファクター（うち原著のみ） 2018年分
和文原著論文	4	—
英文論文	ファーストオーサー	10.083 (10.083)
	コレスポンディングオーサー	13.961 (13.961)
	その他	17.81 (17.81)
	合計	31.771 (31.771)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

1831001

Hata I, Yuasa M, Isozaki Y: Phenylketonuria: Oohashi T, Tsukahara H, Ramirez F, Barber GL, Otsuka F: Human Pathobiochemistry, Springer, 101-110, 2019, ISBN: 978-981-13-2976-0

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1831002

Miyagawa T, Khor SS, Toyoda H, Kanbayashi T, Imanishi A, Sagawa Y, Kotorii N, Kotorii T, Ariyoshi Y, Hashizume Y, Ogi K, Hiejima H, Kamei Y, Hida A, Miyamoto M, Ikegami A, Wada Y, Takami M, Higashiyama Y, Miyake R, Kondo H, Fujimura Y, Tamura Y, Taniyama Y, Omata N, Tanaka Y, Moriya S, Furuya H, Kato M, Kawamura Y, Otowa T, Miyashita A, Kojima H, Saji H, Shimada M, Yamasaki M, Kobayashi T, Misawa R, Shigematsu Y, Kuwano R, Sasaki T, Ishigooka J, Wada Y, Tsuruta K, Chiba S, Tanaka F, Yamada N, Okawa M, Kuroda K, Kume K, Hirata K, Uchimura N, Shimizu T, Inoue Y, Honda Y, Mishima K, Honda M, Tokunaga K: A variant at 9q34.11 is associated with HLA-DQB1*06:02 negative essential hypersomnia, J Hum Genet, 63(12), 1259-1267, 201812, DOI: 10.1038/s10038-018-0518-8, #2.942

1831003

Bijarnia-Mahay S, Häberle J, Jalan AB, Puri RD, Kohli S, Kudalkar K, Rüfenacht V, Gupta D, Maurya D, Verma J, Shigematsu Y, Yamaguchi S, Saxena R, Verma IC: Urea cycle disorders in India: clinical course, biochemical and genetic investigations, and prenatal testing, Orphanet J Rare Dis., 13, 174, 20181001, DOI: 10.1186/s13023-018-0908-1, #3.607

1831004

Tanaka T, Yoshioka K, Nishikomori R, Sakai H, Abe J, Yamashita Y, Hiramoto R, Morimoto A, Ishii E, Arakawa H, Kaneko U, Ohshima Y, Okamoto N, Ohara O, Hata I, Shigematsu Y, Kawai T, Yasumi T, Heike T: National survey of Japanese patients with mevalonate kinase deficiency reveals distinctive genetic and clinical characteristics, Mod Rheumatol, 29(1), 181-187, 20190102, DOI: 10.1080/14397595.2018.1442639, #1.955

1831005

Tao K, Hara Y, Ishihara Y, Ohshima Y.: Cesarean section predominantly affects right ventricular diastolic function during the early transitional period., Pediatr Neonatol, 60(5), 523-529, 201901, DOI: 10.1016/j.pedneo.2019.01.004, #1.232

1831006

Itonaga H, Ota S, Ikeda T, Taji H, Amano I, Hasegawa Y, Ichinohe T, Fukuda T, Atsuta Y, Tanizawa A, Kond T, Miyazaki Y: Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for the treatment of BCR-ABL1-negative atypical chronic myeloid leukemia and chronic neutrophil leukemia: A retrospective nationwide study in Japan, Leuk Res, 75, 50-57, 20181201, DOI: 10.1016/j.leukres.2018.11.003, #2.319

1831007

Kurosawa H, Tanizawa A, Muramatsu H, Tono C, Watanabe A, Shima H, Ito M, Yuza Y, Hamamoto K, Hotta N, Okada M, Moriya Saito A, Manabe A, Mizutani S, Adachi S, Horibe K, Ishii E, Shimada H: Sequential use of second-generation tyrosine kinase inhibitors following imatinib therapy in pediatric chronic myeloid leukemia: A report from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group, Pediatr Blood Cancer, 65(12), e27368, 201812, DOI: 10.1002/pbc.27368, #2.646

1831008

Tajima G, Hara K, Yuasa M: Carnitine palmitoyltransferase II deficiency: with a focus on newborn screening, J Hum Genet, 64(2), 87-98, 201902, DOI: 10.1038/s10038-018-0530-z, #2.942

1831009

Igarashi A, Hata I, Yuasa M, Okuno T, Ohshima Y: A case of an infant with extremely low birth weight and hypothyroidism associated with massive cutaneous infantile hemangioma., J Pediatr Endocrinol Metab., 31(12), 1377-1388, 20181219, DOI: 10.1515/jpem-2018-0369 (症例報告), #1.086

1831010

Yuasa M, Hata I, Sugihara K, Isozaki Y, Ohshima Y, Hara K, Tajima G, Shigematsu Y: Evaluation of Metabolic Defects in Fatty Acid Oxidation Using Peripheral Blood Mononuclear Cells Loaded with Deuterium-Labeled Fatty Acids, Dis Markers, 2984747, 20190207, DOI: 10.1155/2019/2984747, #2.949

1831011

Kawasaki K, Ito N, Murai H, Yasutomi M, Naiki H, Ohshima Y: Skin inflammation exacerbates food allergy symptoms in epicutaneously sensitized mice, Allergy, 73(6), 1313-1321, 201806, DOI: 10.1111/all.13404, #6.048

1831012

Sato S, Sugizaki C, Yanagida N, Ito K, Ohshima Y, Shimojo N, Fujisawa T, Ebisawa M: Nationwide Questionnaire-based Survey of Oral Immunotherapy in Japan, Allergol Int, 67(3), 399-404, 201807, DOI: 10.1016/j.allit.2018.02.006, #4.045

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

1831013

川谷正男: 行動嗜癢・癢による皮膚症状: 大嶋勇成、宮地良樹: こどもの皮膚のみかた, 診断と治療社, 184-187, 201903, 9784787823588

1831014

大嶋勇成: 経皮感作はどこまで解明されたか?: 大嶋勇成、宮地良樹: こどもの皮膚のみかた, 診断と治療社, 2-5, 201903, 9784787823588

1831015

重松陽介: 代謝 脂肪酸代謝異常症: 永田智、星野直、三枚正和、山岸敬幸: 小児の治療指針, 81巻増刊, 小児科診療, 538-539, 201804, 0386-9806

c. 編集・編集・監修

1831016 大嶋勇成、宮地良樹：子どもの皮膚のみかた，診断と治療社，1-408，201903，DOI：9784787823588

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1831017 重松陽介，湯浅光織，畑郁江，磯崎由宇子，杉原啓一：LC-MS/MS方による初回濾紙血を用いた二次検査法の改良と開発，日本マス・スクリーニング学会誌，28(3)，295-301，20181201

1831018 村井宏生，伊藤尚弘，川崎亜希子，安富素子，大嶋勇成：食物アレルギー・アナフィラキシーに関する講習の反復受講効果と講習内容の問題点，日本小児アレルギー学会雑誌，32，127-135，2018

1831019 李知子，山本和宏，起塚庸，山田健治，小林弘典，湯浅光織，重松陽介，原圭一，但馬剛，竹島泰弘：新生児スクリーニングで異常を認めず、横紋筋融解症を機にカルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ2(GPT2)欠損症と診断された幼児例，日本マススクリーニング学会誌，28(3)，63-70，20181201

1831020 Shigematsu Y, Yuasa M, Hata I, Nakajima H, Tajima G, Ishige N, Fukao T, Maeda Y: 2-Methylacetoacetylcarnitine in blood of beta-ketothiolase deficiency and HSD10 disease, Medical Mass Spectrometry, 3(1), 43-47, 201901, DOI: 10.24508/mms.2019.06.002

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

1831021 大嶋勇成：二重抗原暴露仮説を再考する：これからの研究の方向性，日本小児アレルギー学会雑誌，33(1)，35-40，20190320

1831022 山田佳之，今井孝成，大嶋勇成：ガイドライン解説 食物アレルギー診療ガイドライン2016（第12章）消化管アレルギーとその関連疾患，日本小児アレルギー学会雑誌，32(2)，282-287，201806

1831023 大嶋勇成：赤ちゃんとお母さんのためのアレルギー読本：アレルギー疾患の治療法概論：免疫療法，周産期医学，48，s455-s459，201812

1831024 大嶋勇成：小児アレルギーと環境要因，日本職業・環境アレルギー学会雑誌，25(2)，15-21，2018

1831025 大嶋勇成：論文査読の心得と執筆，日本小児アレルギー学会雑誌，32(1)，9-14，2018

1831026 谷澤昭彦：慢性骨髄性白血病，小児内科，50(臨時増刊)，598-599，201811

d. その他研究等実績（報告書を含む）

1831027 大嶋勇成：AMED研究班による食物アレルギー診療の手引き2017，AMED 難治性疾患等実用化研究事業免疫アレルギー疾患等実用化研究事業，2018

1831028 大嶋勇成：福井県学校における食物アレルギー対応の手引，2018

1831029 厚生労働省好酸球性消化管疾患研究班、日本小児アレルギー学会、日本小児栄養消化器肝臓学会 大嶋勇成：新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸症 Minds 準拠診療ガイドライン（実用版），2018

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

1831030 Yamada K, Tsuchida S, Matsuo S, Yuasa M, Yoshikawa T, shigemi H, Iwasaki H, Ohshima Y: The inpat of the heaviest snowall on an epidemic of seasonal influenza in Fukui Prefecture, The 9th Asian Congress of Pediatric Infectious Diseases, 博多市, 20181110

d. 一般講演（ポスター）

1831031 Yamamoto S, Shigematsu Y: Kidney transplantation in an adult male with methylmalonic aciduria: the follow-up report, six years after the transplantation, 2018 Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism, Athen (Greece) , 20180901, J Inherit Metab Dis, 41(Suppl.1), S28, 20180801

1831032 Ohshima Y, Kawasaki A, Ito N, Murai H, Yasutomi M, Naiki H.: Skin inflammation exacerbates food allergy symptoms in epicutaneously sensitized mice, the European Academy of Allergy and Clinical Immunology Congress 2018, Munchen(Germany) , 20180526

1831033 Kanayama T, Imamura T, Sakamoto K, Hayakawa F, Tanizawa A, Kiyokawa N, Hosoi H: A Novel PAX5-K1DINS220 Fusion Protein Activates Multiple Signals Associated with Therapeutic Resistance, 60th ASH annual meeting, San Diego(USA) , 20181203, Blood, 132(suppl 1), 3928, 20181118

1831034 Shimada H, Tanizawa A, Kondo T, Muramatsu H, Yasui M, Tojo A, Nagamura-Inoue T, Eto T, Igarashi A, Kanamori H, Sato M, Noguchi M, Ichinohe T, Inoue M, Kato K, Atsuta Y, Ohashi K: Reduced-Intensity Allogeneic HSCT for Children and Adolescents/Young Adults with GML: A Study from the Adult and Pediatric GML Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation, 60th ASH annual meeting, San Diego(USA) , 20181202, Blood, 132(suppl 1), 3008, 20181118

1831035 Tajima G, Hara K, Tsumura M, Kagawa R, Okada S, Yuasa M, Hata I, Shigematsu Y, Yamaguchi S: Newborn screening for carnitine palmitoyltransferase II deficiency in Japan using (C16+C18:1)/C2 and C14/C3, 2018 Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism, Athen(Greece), 20180904, J Inherit Metab Dis, 41(Suppl.1), S25, 20180901

1831036 Yuasa M, Hata I, Sugihara K, Isozaki Y, Shigematsu Y, Ohshima Y, Kagawa R, Okada S, Hara K, Tajima G: Investigation of beta oxidation process in MCAD-deficient patients who showed normal enzyme activity, Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism, Athens (Greece) , 20180904, Journal of Inherited Metabolic Disease, 41(1), S143, 20180901

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

- 1831037** 大嶋勇成: プロコンディベート1: スキンケアは食物アレルギーの発症を止められるか? : Pro, 第55回日本小児アレルギー学会学術大会, スキンケアは食物アレルギーの発症を止められるか?, 岡山市, 20181020, 日本小児アレルギー学会雑誌, 32(3), 453, 20180801
- 1831038** 大嶋勇成: 自然免疫と疾病病理 ヒトにおける自然免疫の役割, 第50回日本小児感染症学会学術集会, 博多市, 20181110
- 1831039** 大嶋勇成: 二重曝露仮説を再考する: これからの研究の方向性, 第55回日本小児アレルギー学会学術大会, 食物アレルギーの発症予防とアトピー性皮膚炎, 岡山市, 20181020, 日本小児アレルギー学会雑誌, 32(3), 422, 20180801
- 1831040** 伊藤尚弘, 村井宏生, 川崎亜希子, 安富素子, 大嶋勇成: アサリによるFood Protein-induced Enterocolitis Syndrome (FPIES) の一例, 第67回日本アレルギー学会学術大会, 千葉市, 20180622, アレルギー, 67(4, 5), 538, 20180515
- 1831041** 村井宏生, 伊藤尚弘, 川崎亜希子, 大嶋勇成: 気管支喘息診断・検査: 唾液中YKL-40濃度は喘息児の末梢気道狭窄の程度と逆相関する, 第55回日本小児アレルギー学会学術大会, 岡山市, 20181020, 日本小児アレルギー学会雑誌, 32(3), 422, 20180801

c. 一般講演 (口演)

- 1831042** 重松陽介, 湯浅光織: 全国実施が実現した CPT2 欠損症マスキングの新指標に関する検討, 日本人類遺伝学会第63回大会, 横浜市, 20181011, 日本人類遺伝学会雑誌
- 1831043** 香川礼子, 但馬剛, 前田堂子, 原圭一, 西村裕, 重松陽介: コバラミン代謝障害によるメチルマロン酸血症・ホモシチン尿症関連疾患のスクリーニング指標に関する検討, 第60回日本先天代謝異常学会, 岐阜市, 20181108, 日本先天代謝異常学会雑誌, 34, 185, 20181001
- 1831044** 沼倉周彦, 但馬剛, 小林弘典, 坂本修, 重松陽介, 山口清次: タンデムマスキング試験研究期に発見された症例の予後調査, 第60回日本先天代謝異常学会, 岐阜市, 20181108, 日本先天代謝異常学会雑誌, 34, 185, 20181001
- 1831045** 荒尾正人, 原嶋宏子, 高田綾, 齋藤一之, 窪田満, 松下大介, 重松陽介, 原圭一, 但馬剛, 大竹明: タンデムマスキング導入による乳幼児突然死予防の有用性 脂肪酸代謝異常症での検討, 第45回日本マス・スクリーニング学会学術集会, さいたま市, 20180817, 日本マス・スクリーニング学会誌, 28(2), 253, 20180701
- 1831046** 香川礼子, 但馬剛, 前田堂子, 吉井千代子, 西村裕, 重松陽介: コバラミン代謝障害によるメチルマロン酸血症・ホモシチン尿症関連疾患群のスクリーニング指標に関する検討, 第45回日本マス・スクリーニング学会学術集会, さいたま市, 20180817, 日本マス・スクリーニング学会誌, 28(2), 263, 20180701
- 1831047** 金山拓登, 今村俊彦, 坂本謙一, 早川 文彦, 谷澤昭彦, 清河信敬, 細井創: PAX5-KIDINS220融合蛋白はSOCS5の発現を抑制し、JAK2-STAT5系を活性化する, 第80回日本血液学会学術集会, 大阪市, 20181012, 臨床血液, 59(9), 1534, 20180918
- 1831048** 嶋晴子, 谷澤昭彦, 黒澤秀光, 渡辺輝浩, 伊藤正樹, 遠野千佳子, 湯坐有希, 村松秀城, 浜本和子, 岡田雅彦, 加藤剛二, 松本公一, 柴徳生, 嶋田 博之, 日本小児がん研究グループCML委員会: 小児慢性期CMLにおけるチロシンキナーゼ阻害剤が成人身長に及ぼす影響 (JPLSG CML11 研究), 第80回日本血液学会学術集会, 大阪市, 20181013, 臨床血液, 59(9), 1561, 20180918
- 1831049** Shimada H, Kurosawa H, Watanabe A, Ito M, Tono C, Shima H, Yuza Y, Hamamoto K, Muramatsu H, Hotta N, Okada M, Tanizawa A: 小児慢性期慢性骨髄性白血病 (CML) に対する多施設共同観察研究CML-08: 平成30年度予備解析, 第60回日本小児血液・がん学会学術集会, 京都市, 20181114, 小児血液・がん学会雑誌, 55(4), 228, 20181018
- 1831050** Yuza Y, Shimada H, Kurosawa H, Watanabe A, Ito M, Tono C, Shima H, Hamamoto K, Hideki Muramatsu H, Hotta N, Okada M, Tanizawa A: A 2018 multicenter, prospective observational study for pediatric CML in CP (JPLSG CML-08): a preliminary analysis of adverse events, 第60回日本小児血液・がん学会学術集会, 京都市, 20181114, 小児血液・がん学会雑誌, 55(4), 230, 20181018
- 1831051** Yoshikawa T, Tanizawa A, Suzuki K, Shimada M, Nakabayashi Y, Yamaguchi A, Imamura Y, Inai K, Shimizu T, Kumano A, Ohshima Y: 14歳女子例の縦隔に発生した大細胞型B細胞性リンパ腫, 第60回日本小児血液・がん学会学術集会, 京都市, 20181114, 小児血液・がん学会雑誌, 55(4), 228, 20181018
- 1831052** 伊藤尚弘, 村井宏生, 川崎亜希子, 鈴木孝二, 平松活志, 今村好章, 大嶋勇成: 胃腸炎を契機にFood protein-induced enterocolitis syndrome (FPIES) を発症した4歳女児例, 第55回日本小児アレルギー学会学術大会, 岡山市, 20181020, 日本小児アレルギー学会雑誌, 32(3), 613, 20181001
- 1831053** 南征樹, 澤田真理子, 林知宏, 齋藤真澄, 渡部晋一, 脇野自, 松田純子, 但馬剛, 重松陽介, 湯浅光織, 新垣義夫: 持続的血液透析を要するケトアシドーシスを契機に診断に至ったβ-ケトチオラーゼ欠損症の1男児例, 第29回日本急性血液浄化学会学術集会, 名古屋, 20181019, 日本急性血液浄化学会雑誌
- 1831054** 李知子, 山本和宏, 山田健治, 小林弘典, 湯浅光織, 重松陽介, 原圭一, 但馬剛, 竹島泰弘: 新生児タンデムマスキングで異常を認めず、横紋筋融解症を機にCPT2欠損症と診断された幼児例, 第60回日本先天代謝異常学会, 岐阜市, 20181108, 日本先天代謝異常学会雑誌, 34, 189, 20180901
- 1831055** 湯浅光織, 畑郁江, 杉原啓一, 磯崎由宇子, 重松陽介, 大嶋勇成, 香川礼子, 岡田賢, 原圭一, 但馬剛: 酵素活性が正常であったMCAD欠損症患者における末梢単核球を用いたβ酸化能の検討, 第60回日本先天代謝異常学会, 岐阜市, 20181108, 日本先天代謝異常学会雑誌, 34, 188, 20180901
- 1831056** 但馬剛, 原圭一, 津村弥来, 香川礼子, 岡田賢, 湯浅光織, 畑郁江, 重松陽介, 山口清次: 新指標 (C16+C18:1) /C2&C14/C31によるCPT2欠損症の新生児スクリーニング, 第60回日本先天代謝異常学会, 岐阜市, 20181108, 日本先天代謝異常学会雑誌, 34, 184, 20180901
- 1831057** 李知子, 山本和宏, 山田健治, 小林弘典, 湯浅光織, 重松陽介, 但馬剛, 竹島泰弘: 新生児タンデムマスキングで異常指摘されず、横紋筋融解症を機にCPT2欠損症と診断された幼児例, 第45回日本マス・スクリーニング学会学術集会, さいたま市, 20180817, 日本マススクリーニング学会誌, 28(2), 92(252), 20180710
- 1831058** 但馬剛, 原圭一, 香川礼子, 津村弥来, 岡田賢, 湯浅光織, 畑郁江, 重松陽介, 山口清次: CPT2欠損症スクリーニング新指標の有用性: 最近の診断例を加えた検討, 第45回日本マス・スクリーニング学会学術集会, さいたま市, 20180817, 日本マススクリーニング学会誌, 28(2), 90(250), 20180710
- 1831059** Yoshikawa T, Tanizawa A, Suzuki K, Shimada M, Nakabayashi Y, Yamaguchi A, Imamura Y, Inai K, Shimizu T, Kumano A, Ohshima Y: Large B-cell lymphoma in a 14-year-old girl with ataxia-telangiectasia., 第60回日本小児血液・がん学会学術集会, 京都市, 20181114, 日本小児血液・がん学会雑誌, 55(4), 228, 20181001
- 1831060** Murai H, Itoh N, Kawasaki A, Yasutomi M, Ohshima Y: miRNAs in breast milk may contribute to the early onset of allergy., 第67回日本アレルギー学会学術大会, 千葉市, 20180622
- 1831061** 川谷正男, 小坂拓也, 巨田元礼, 大嶋勇成, 友田明美, 平谷美智夫: 「キレル子ども」の臨床背景, 第7回日本小児診療多職種研究会, 北九州市, 20181125, 20181125
- 1831062** 五十嵐愛子, 奥野貴士, 畑郁江, 大嶋勇成: 巨大な皮膚血管腫に甲状腺機能低下症を合併して超低出生体重児の1例, 第12回新生児内分泌研究会学術集会, 京都市, 20180922
- 1831063** 伊藤朋子, 大田浩司, 前田浩幸, 井川正道, 畑郁江, 米田誠: 両側性乳癌における遺伝的背景および予後に関する検討, 日本人類遺伝学会第63回大会, 横浜市, 20181011, 日本人類遺伝学会第63回大会 プログラム・抄録集, 341, 20181001

業績一覧

- 1831064** 前田浩幸、横井繁周、伊藤朋子、大田浩司、川谷正男、井川正道、畑郁江、五井孝憲、米田誠：癌ゲノム医療連携病院における2次的所見に対する臨床遺伝専門医の役割，日本人類遺伝学会第63回大会，横浜市，20181013，日本人類遺伝学会第63回大会 プログラム・抄録集，286，20181001
- 1831065** 但馬剛、原圭一、香川礼子、津村弥来、岡田賢、湯浅光織、畑郁江、重松陽介、山口清次：全国実施が実現したCPT2欠損症マスキリーニングの新指標に関する検討，日本人類遺伝学会第63回大会，横浜市，20181011，日本人類遺伝学会第63回大会 プログラム・抄録集，255，20181001
- 1831066** 知野剛直、尾山徳孝、宇都宮慧、宇都宮夏子、長谷川稔、磯崎由宇子、湯浅光織、畑郁江、久保亮治：LMNA遺伝子の変異により発症した色素異常を伴う先天性脂肪萎縮症の1例，日本人類遺伝学会第63回大会，横浜市，20181011，日本人類遺伝学会第63回大会 プログラム・抄録集，254
- 1831067** 重松陽介、湯浅光織、畑郁江、磯崎由宇子、杉原啓一：LC-MS/MS法による初回濾紙血を用いた二次検査法の改良と開発，第45回日本マス・スクリーニング学会学術集会，さいたま市，20180817，日本マススクリーニング学会誌，28(2)，72，20180710
- d. 一般講演 (ポスター)**
- 1831068** 山本暢之、鈴木孝二、福島啓太郎、篠田邦大、矢野道広、石田裕二、大曾根真也、齋藤雄弥、佐野弘純、澤田明久、新小田雄一、加藤陽子、森尚子：本邦の小児がん診療施設における口腔ケアについての現状調査報告，第3回日本がんサポーターケア学会学術集会，福岡市，20180831
- 1831069** 鈴木孝二、福島啓太郎、山本暢之、篠田邦大、矢野道広、石田裕二、大曾根真也、齋藤雄弥、佐野弘純、澤田明久、新小田雄一、加藤陽子、森尚子：JCCG施設調査により明らかとなった本邦の小児がん治療における食事管理の現状，第3回日本がんサポーターケア学会学術集会，福岡市，20180831
- 1831070** 伊藤尚弘、村井宏生、川崎亜希子、安富素子、岡本昌之、今村好章、大嶋勇成：経過中に耳下腺部無菌性膿胞と反復するガマ腫を合併したSjögren症候群の1女児例，第28回日本小児リウマチ学会総会・学術集会，東京，20181026
- 1831071** 巨田元礼、川谷正男、小坂拓也、米谷博、大嶋勇成：神経性やせ症治療における頭部MRI脳血流画像の変化，第60回日本小児神経学会学術集会，千葉市，20180531，脳と発達，50(学術集会号)，410，20180501
- 1831072** 川谷正男、小坂拓也、巨田元礼、米谷博、大嶋勇成、友田明美、平谷美智夫：「キレル子ども」の臨床背景，第60回日本小児神経学会学術集会，千葉市，20180531，脳と発達，50(学術集会号)，411，20180501
- 1831073** 小坂拓也、巨田元礼、米谷博、川谷正男、大嶋勇成、平谷美智夫：幼児期における発達障害児の睡眠障害に対するラメルテオンの有効性の検討，第60回日本小児神経学会学術集会，千葉市，20180531，脳と発達，50(学術集会号)，412，20180501
- 1831074** 澤田智、柿下優衣、左信哲、藤井隆大、矢崎耕太郎、坂東賢二、湯浅光織、重松陽介、村上城子：低カルニチン血症から低血糖を来しけいれん重責で搬送された1歳女児例，第60回日本先天代謝異常学会，岐阜市，20181108，日本先天代謝異常学会雑誌，34，215，20180901
- 1831075** 南征樹、澤田真理子、林知宏、齋藤真澄、渡部晋一、脇研白、松田純子、但馬剛、湯浅光織、新垣義夫：持続的血液透析を要するケトアシドーシスを契機に診断に至ったβ-ケトチオラーゼ欠損症の男児例，第60回日本先天代謝異常学会，岐阜市，20181108，日本先天代謝異常学会雑誌，34，213，20180901
- 1831076** Suzuki K, Ito N, Nakabayashi Y, Yoshikawa T, Tanizawa A, Ohshima Y: The management for t(8:21)(q22;q22) positive acute myeloid leukemia with residual extramedullary involvement after induction chemotherapy., 第60回日本小児血液・がん学会学術集会，京都市，20181116，日本小児血液・がん学会雑誌，55(4)，313，20181001
- 1831077** 巨田元礼、川谷正男、小坂拓也、滝口慎一郎、米谷博、平谷美智夫、大嶋勇成：同胞発症神経達のうち少なくとも一人が発達性ディスレクシアの臨床的特徴，第60回日本小児神経学会学術集会，千葉市，20180601，脳と発達，50(学術集会号)，S427，20180501
- 1831078** 松尾星弥、奥野貴士、五十嵐愛子、巨田元礼、大嶋勇成：臍帯静脈瘤と門脈体外循環環絡を認めた21トリソミーの1例，第63回新生児育成医学学会学術集会，東京，20181122，30(3)，800，20181020
- 1831079** 奥野貴士、松尾星弥、五十嵐愛子、巨田元礼、大嶋勇成：先天性両側乳び胸と両側水腎症を認めた1男児例，第63回新生児育成医学学会学術集会，東京，20181122，日本新生児育成医学学会雑誌，30(3)，798，20181020
- 1831080** 大田浩司、伊藤朋子、前田浩幸、井川正道、畑郁江、米田誠：同時性、早期異時性、遅発異時性両側性乳癌の遺伝的背景、生物学的特徴，日本人類遺伝学会第63回大会，横浜市，20181013，日本人類遺伝学会第63回大会 プログラム・抄録集，382，20181001
- 1831081** 畑郁江、磯崎由宇子、湯浅光織、杉原啓一、重松陽介、大嶋勇成、知野剛直、宇都宮慧、尾山徳孝、久保亮治、佐々木貴史、中林一彦、秦健一郎：骨病変を伴ったLMNA遺伝子異常による先天性脂肪萎縮症の一例，第52回日本小児内分泌学会学術集会，東京，20181005，日本小児内分泌学会学術集会 プログラム・抄録集，233，20181001
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (3) 国内学会 (地方レベル)**
- a. 招待・特別講演等**
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- 1831082** 鈴木孝二、荒木遥：子どもの採血・血管確保・ワクチン接種時の苦痛緩和と採血等処置時の多職種連携とホスピタルプレイスペシャリストの関わり，第325回日本小児科学北陸地方会，子どもの採血・血管確保・ワクチン接種時の苦痛緩和，富山市，20190310
- c. 一般講演 (口演)**
- 1831083** 玉村宗一、宮永光次、野村詠史、前田夢吉、渡邊康宏、森夕起子、林泰平：臨床経過と血清補体価との間で異なる推移を示したSLEの2女児例，第26回中部小児腎臓病研究会，長久手市，20181013，日本小児腎臓学会誌，32(1)，53，201904
- 1831084** 森夕起子、玉村宗一、林泰平：両側膀胱尿管逆流症を認め、DMSAシンチグラムで両腎の摂取率がび浸性に低下していた、無症候性蛋白尿の一例，第26回中部小児腎臓病研究会，愛知，20181013，日本小児腎臓学会誌，32(1)，53，201904
- 1831085** 村井宏生、川崎亜希子、伊藤尚弘、大嶋勇成：卵黄による食物蛋白誘発胃腸炎と診断した1歳の一女児例，第18回日本小児科学会福井地方会，福井市，20181117
- 1831086** 牧野優衣、下川弘美、高野真紀子、広瀬知美、京盛愛枝、石川一美、荒木遥、鈴木孝二：ホスピタル・プレイ・スペシャリスト(HPS)と協働した、プレパレーション・ディストラクション実施の取り組み，第62回福井県小児保健協会学術集会，永平寺町，20190210
- 1831087** 松尾星弥、鈴木孝二、巨田元礼、吉川利英、大嶋勇成、有賀謙、佐野正太郎、原慶和：transferrin receptor 2 (TFR2) のヘテロ変異を認めた高フェリチン血症の1歳男児例，第325回日本小児科学北陸地方会，富山市，20190310
- 1831088** 川谷正男、小坂拓也、巨田元礼、友田明美、大嶋勇成：福井県の小中学校における「間欠的爆発症の疑いのある子ども」に関するアンケート調査，第62回福井県小児保健協会学術集会，永平寺町，20190210
- 1831089** 出口沙知、山田健太、村井宏生、鈴木孝二、伊藤知美、今村好章、福井玲芽、長谷川稔、谷澤昭彦、大嶋勇成：難治性尋常性瘡癩として加療されていた種痘様水疱症の思春期前男子，第324回日本小児科学会北陸地方会，内灘町，20181209
- 1831090** 松尾星弥、鈴木孝二、巨田元礼、有賀謙、佐野正太郎、原慶和、吉川利英、大嶋勇成：transferrin receptor 2 (TFR2) のExon9 c.1206C>Aヘテロ変異を認めた高フェリチン血症の1歳男児例，第325回日本小児科学会北陸地方会，富山市，20190310

業績一覧

- 1831091 松尾星弥、奥野貴士、伊藤尚弘、小坂拓也、林泰平、巨田元礼、鈴木孝二、畑郁江、大嶋勇成：Dry lung syndromeを発症した児の予後と在胎週数の関係，第323回日本小児科学会北陸地方会，永平寺町，20180610
- 1831092 伊藤尚弘、村井宏生、川崎亜希子、鈴木孝二、大嶋勇成：好酸球増多を呈し、Food protein-induced enterocolitis syndrome (FPIES) と診断した4歳女児例，第54回中部日本小児科学会，名古屋市，20180819
- 1831093 小坂拓也、出口沙知、巨田元礼、米谷博、川谷正男、大嶋勇成：発症早期のステロイドパルス療法とTRH療法が神経学的予後の改善に寄与した急性壊死性脳症の1例，第75回小児神経学会北陸地方会，金沢市，20190203
- 1831094 出口沙知、巨田元礼、小坂拓也、川谷正男、大嶋勇成、川満徹：潰瘍性大腸炎を合併した原因不明の重症心身障害7歳女児，日本小児神経学会北陸地方会夏季セミナー（第8回白山セミナー），加賀市，20180804

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

- 1831095 大嶋勇成：小児アレルギーのトピックス：アレルギーマーチと発症予防，第43回KMU小児臨床研究会，枚方市，20190316
- 1831096 大嶋勇成：小児喘息の多様性と病態，The 4th Expert Meeting for Adult and Chil Asthma (EMA)，大阪市，20190216
- 1831097 大嶋勇成：アレルギーマーチの進展予防の可能性について，第7回鹿児島アレルギー講習会，鹿児島市，20190214
- 1831098 大嶋勇成：ガイドラインにおける舌下免疫療法の小児適応，第1回FUKUI AITカンファレンス，福井市，20180906
- 1831099 大嶋勇成：小児アトピー性皮膚炎の生活管理とスキンケア，石川県小児科医会学術講演会，金沢市，20180912
- 1831100 谷澤昭彦：小児白血病診療の進歩と長期フォローアップの課題，鯖江市医師会勉強会（十日会），鯖江市，20180920

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

- 1831101 鈴木孝二：造血幹細胞移植に対する理解が得られない再生不良性貧血の中学校2年生女子への対応，第48回【福井】血液・腫瘍Roundtable Conference，福井市，20180731
- 1831102 松尾星弥、鈴木孝二、巨田元礼、出口沙知、吉川利英、谷澤昭彦、山口愛奈、小林英理子、今村好章、小練研司、五井孝憲、村上真、岡本竜弥、小川絵里、上本伸二、岡島英明、大嶋勇成：化学療法後も肝臓病変が残存した乳児中間リスク神経芽腫に対する治療経験，第49回北陸小児癌講演会，金沢市，20190209
- 1831103 伊藤尚弘、村井宏生、川崎亜希子、安富素子、岡本昌之、今村好章、大嶋勇成：経過中に耳下腺部無菌性嚢胞と反復するガマ腫を合併したSjögren症候群の1女児例，北陸小児リウマチ研究会，金沢市，20190302
- 1831104 出口沙知、小坂拓也、巨田元礼、村井宏生、川谷正男、畑郁江、平城直子、竹内元浩、大嶋勇成：早期の診断・治療介入ができた急性壊死性脳症の1例，第26回北陸小児救急・集中治療研究会，金沢市，20181117
- 1831105 吉川利英、谷澤昭彦、鈴木孝二、島田舞子、中林結子、山口愛奈、今村好章、稲井邦博、清水達人、熊野麻美、大嶋勇成：気管支喘息様症状を契機に大細胞型B細胞性リンパ腫の診断に至ったAtaxia-telangiectasia女子例の治療経験，第8回北陸免疫不全症セミナー，金沢市，20190300
- 1831106 鈴木孝二、巨田元礼、吉川利英、谷澤昭彦、山内貴寛、北井隆平、今村好章、池田和美、谷口義弘、津田英夫、柴田哲志、玉村裕保、大嶋勇成：大脳半球に発生した退形成性上衣腫の2歳5か月児に対する陽子線治療の経験，第48回北陸小児癌講演会，金沢市，20180900
- 1831107 吉川利英、谷澤昭彦、鈴木孝二、島田舞子、中林結子、山口愛奈、今村好章、稲井邦博、清水達人、熊野麻美、大嶋勇成：びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫を発症したAtaxia-telangiectasia女子の治療経験，第13回京都地区小児血液腫瘍研究会，京都市，20180728
- 1831108 出口沙知、奥野貴士、五十嵐愛子、畑郁江、大嶋勇成：出生時より重度の舌根沈下による呼吸障害を呈した新生児の1例，第32回北陸周産期・新生児研究会，金沢市，20181014
- 1831109 前田浩幸、根来英樹、川谷正男、井川正道、畑郁江、廣野靖夫、片山寛次、五井孝憲、米田誠：癌ゲノム医療連携病院における2次的所見の対応方法の検討，第39回北陸臨床遺伝研究会，内灘町，20190303，第39回 北陸臨床遺伝研究会 プログラム・抄録集，10，20190303
- 1831110 杉原啓一、磯崎由宇子、湯浅光織、畑 郁江、重松陽介、熊野麻美：カフェオレ斑を伴う低リン血症性くる病の一男児例，第33回北陸小児内分泌研究会，金沢市，20190216
- 1831111 畑郁江、磯崎由宇子：新生児期よりBH4療法を開始したBH4反応性高ファニルアラニン血症の症例，第10回BH4専門委員会報告会，岐阜市，20181108

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
難治性疾患実用化研究事業	AMED受託研究	①MELAS/MELAIに対するビルビン酸療法と長期投与試験の実施と総括報告書作成 ②新規バイオマーカーGDF15の体外診断薬としての開発研究 ③ミトコンドリア病の診断・治療アルゴリズムの策定	畑 郁江		2018	325000

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	キレる子どもの神経基盤の解明と有効な包括的対支援システムの構築	川谷 正男		2018	1820000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	ナノ粒子を利用した食物アレルギーの経皮免疫療法	大嶋 勇成		2018	1300000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	ナノ粒子を用いた分化誘導療法による新たな神経芽腫治療法の開発	鈴木 孝二		2018	1820000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	ナノ粒子を用いた薬物輸送システムの開発: 神経芽腫がん細胞の分化誘導療法	吉川 利英		2018	1430000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	発達性ディスレクシアの神経基盤の解明と早期発見・介入の試み	巨田 元礼		2018	1820000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	皮膚免疫応答の制御による、食物アレルギーの感作抑制と免疫療法への応用	川崎 亜希子		2018	2470000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	胎児・新生児期の生体リズム評価による自閉スペクトラム症の病態解明	小坂 拓也		2018	2470000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	脂肪酸酸化異常症代謝プロファイル解析による高精度診断法の確立	湯浅 光織		2018	1300000
学内競争的資金	平成30年度育成経費	小児における腎機能評価のための非侵襲的バイオマーカーの開発	林 泰平		2018	300000
学内競争的資金	平成30年度育成経費	食物アレルギーに対するナノ粒子を利用した経皮免疫療法とアジュバントの検討	伊藤 尚弘		2018	300000

(B) 奨学寄附金

受入件数	14
受入金額	7800000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本アレルギー協会	北陸支部長(その他)	大嶋勇成
国際喘息学会日本・北アジア部会	幹事(その他)	大嶋勇成
日本小児呼吸器学会	学術委員会委員(その他)	大嶋勇成
日本小児呼吸器学会	情報処理委員会委員(その他)	大嶋勇成
日本小児呼吸器学会	地区運営委員(その他)	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	将来計画委員長(その他)	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	食物アレルギーガイドライン委員会委員(その他)	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	編集委員長	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	利益相反委員会委員(その他)	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	理事	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	評議員	大嶋勇成
日本小児科学会	編集委員	大嶋勇成
日本小児科学会	代議員	大嶋勇成
日本小児科学会	中部地区資格認定委員会委員(その他)	大嶋勇成
日本小児皮膚科学会	編集委員	大嶋勇成
日本小児皮膚科学会	運営委員(その他)	大嶋勇成
日本小児感染症学会	編集委員	大嶋勇成
日本小児感染症学会	理事	大嶋勇成
日本小児感染症学会	評議員	大嶋勇成
日本アレルギー学会	編集委員	大嶋勇成
日本アレルギー学会	専門医試験作成委員長(その他)	大嶋勇成
日本アレルギー学会	専門医制度委員(その他)	大嶋勇成
日本アレルギー学会	代議員	大嶋勇成
日本アレルギー学会	免疫療法WG委員会委員(その他)	大嶋勇成

業績一覧

福井県小児保健協会	副会長（その他）	大嶋勇成
日本小児科学会福井地方会	会長（その他）	大嶋勇成
日本小児科学会北陸地方会	委員（その他）	大嶋勇成
北陸小児救急・集中治療研究会	世話人（その他）	畑郁江
福井糖尿病療養指導研究会	理事	畑郁江
日本人類遺伝学会	評議員	畑郁江
日本先天代謝異常学会	評議員	畑郁江
日本人類遺伝学会	評議員	川谷正男
福井県小児保健協会	理事	川谷正男
日本小児神経学会北陸地方会	幹事（その他）	川谷正男
日本小児神経学会	アーカイブ小委員会委員（その他）	川谷正男
日本小児神経学会	ホームページ委員会委員（その他）	川谷正男
日本小児神経学会	評議員	川谷正男
日本小児アレルギー学会	疫学調査WG委員（その他）	安富素子
日本骨髓バンク	調整医師（その他）	鈴木孝二
日本小児アレルギー学会	評議員	村井宏生
日本小児アレルギー学会	小児アレルギー教育セミナーWG 委員（その他）	村井宏生
日本小児アレルギー学会	喘息治療・管理ガイドラインSR委員（その他）	村井宏生
未熟児新生児医療研究会	世話人（その他）	奥野貴士
北陸周産期新生児研究会	世話人（その他）	奥野貴士
日本骨髓バンク	調整医師（その他）	谷澤昭彦
日本小児がん研究グループ	血液腫瘍分科会CML委員会委員長（その他）	谷澤昭彦
日本造血細胞移植学会	慢性骨髄性白血病（CML）/骨髄増殖性腫瘍（MPN）【小児】ワーキング（その他）	谷澤昭彦

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
招待・特別講演等	第67回日本アレルギー学会学術大会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第51回日本小児呼吸器学会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第19回食物アレルギー研究会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第6回福井小児てんかん勉強会	大嶋勇成
シンポジウム等	第50回日本小児感染症学会学術集会	大嶋勇成
シンポジウム等	第55回日本小児アレルギー学会学術大会	大嶋勇成
シンポジウム等	第42回日本小児皮膚科学会	大嶋勇成
シンポジウム等	第13回日本小児耳鼻咽喉科学学術講演会	大嶋勇成
シンポジウム等	XXIV World Congress of Asthma	大嶋勇成
一般講演（口演）	第10回北陸小児リウマチ研究会	大嶋勇成
一般講演（口演）	第8回小児免疫不全症セミナー	大嶋勇成
一般講演（口演）	第55回日本小児アレルギー学会学術大会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第3回福井県1型の会（1型糖尿病療養セミナー）	畑郁江
招待・特別講演等	第4回福井県1型糖尿病研究会	畑郁江
招待・特別講演等	ムコ多糖症 Meet the Specialist	畑郁江
一般講演（口演）	第60回日本先天代謝異常学会総会	畑郁江
一般講演（口演）	第13回小児北陸内分泌症例検討会	畑郁江
招待・特別講演等	小児てんかんセミナー	川谷正男
シンポジウム等	第62回福井県小児保健協会学術集会	川谷正男
一般講演（口演）	第60回日本小児神経学会	川谷正男
一般講演（口演）	第8回白山セミナー（日本小児神経学会北陸地方会夏季セミ）	川谷正男
一般講演（口演）	第323回日本小児科学会北陸地方会	湯浅光織
一般講演（口演）	第55回日本小児アレルギー学会学術大会	村井宏生
一般講演（口演）	第54回中部日本小児科学会 村井	村井宏生

業績一覧

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長(主査)・委員	氏名
Pediatr Int	委員	大嶋勇成
Respir Res		大嶋勇成
Biomedicine		大嶋勇成
Pharmacotherapy		大嶋勇成
Int J Hematol		大嶋勇成
Curr Immunol Rev		大嶋勇成
Pediatr Int		大嶋勇成
Int Arch Allergy Immunol		大嶋勇成
Front Immunol		大嶋勇成
Front Pulmonol		大嶋勇成
Front Microbiol		大嶋勇成
Front Pediatr		大嶋勇成
Pediatr Allergy Immunol		大嶋勇成
Allergol Int		大嶋勇成
J Allergy Clin Immunol		大嶋勇成
日本小児アレルギー学会誌	委員長	大嶋勇成
小児感染免疫	委員	大嶋勇成
日本小児皮膚科学会雑誌	委員	大嶋勇成
日本小児呼吸器学会雑誌		大嶋勇成
小児感染免疫		大嶋勇成
日本小児皮膚科学会雑誌		大嶋勇成
日本マスキリーニング学会雑誌		畑郁江
Pediatr Int		村井宏生
Allergol Int		村井宏生
日本小児アレルギー学会誌		村井宏生
日本周産期新生児医学学会誌		奥野貴士
Brain Dev		重松陽介
Pediatr Int		重松陽介
日本マスキリーニング学会雑誌		重松陽介

(E) その他

1831112

Sakamoto K, Imamura T, Kihira K, Suzuki K, Ishida H, Morita H, Kanno M, Mori T, Hiramatsu H, Matsubara K, Terui K, Takahashi Y, Suenobu SI, Hasegawa D, Kosaka Y, Kato K, Moriya-Saito A, Sato A, Kawasaki H, Yumura-Yagi K, Hara J, Horii H, Horibe K: 2018年度後期優秀論文賞(医学研究推進室), Low Incidence of Osteonecrosis in Childhood Acute Lymphoblastic Leukemia Treated With ALL-97 and ALL-02 Study of Japan Association of Childhood Leukemia Study Group., 2018

1831113

畑郁江: 福大病院まちかどラジオ(福井街角放送), 遺伝診療部について, 20180620

1831114

大嶋勇成: 医師会だより(福井県医師会), 勤務医のページ 病棟保育士と医療保育, 20180601

1831115

大嶋勇成: ほっと35号p7(福井市福祉保健部子育て支援室), みんなの元気 マダニについて, 20180901

1831116

大嶋勇成: ほっと36号p7(福井市福祉保健部子育て支援室), みんなの元気 子どもの排便、排尿について, 20190201

1831117

大嶋勇成: 食物アレルギーや鼻炎の治療法説明 11日福井で「保健大会」(日刊県民福井), 20180804

1831118

大嶋勇成: アレルギー性鼻炎 最新の治療法紹介 福井大講演会(日刊県民福井), 20180904

1831119

川谷正男: 子どもの体元気ガイド(福井新聞), チックてなあに?, 20181101

1831120

鈴木孝二: おかえりホームドクター(福井テレビ), 移植後のワクチン接種について, 20190200

1831121

鈴木孝二: 小児がん 患者家族に休憩施設 福井大病院2LC寄付金など活用(福井、中日、県民), 20181211

1831122

鈴木孝二: おじゃまっテレ健康いちばん「骨髄移植をした小児がん患者における摂取済みワクチンの再接種について」(FBC), 20190312

1831123

湯浅光織: 子どもの体元気ガイド(福井新聞), 内斜視について, 20190300

1831124

小坂拓也: 子どもの体元気ガイド(福井新聞), 小児のヘルニア, 20190121

1831125

小坂拓也: おじゃまっテレ 健康いちばん(FBC福井放送), 起立性調節障害, 20180821

1831126

伊藤尚弘: 子どもの体元気ガイド(福井新聞), しもやけについて, 20181217

1831127

吉川 利英: おかえりなさい「おかえりホームドクター」(福井テレビ), 冬に多い胃腸炎について, 20181217

1831128

吉川利英: おかえりホームドクター「ノロウイルス予防法」(FTV), 20181217